

I はじめに

- 我が国は今、世界に先駆けて「人口減少・超高齢社会」を迎えている。総人口は2010年をピークとして人口減少は今後加速度的に進み、急激な人口減少、少子化・高齢化が進行することが予測されている。
- 特に地方では、生産年齢人口だけでなく、老年人口も減少している地域もあり、都市部に先駆けて人口減少が深刻となっており、地域経済の疲弊につながっている。これらの課題に対応し、いかに未来を築いていくかが、喫緊の課題となっている。
- 国や地方自治体においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に懸命に取り組んでいるところであるが、人口減少に歯止めがかからない状況が続いている。
- 以上のような状況及び課題認識を踏まえ、「長崎県2040年研究会」（以下、「本研究会」という）においては、全国に先駆けて長崎県に到来する人口減少社会に対し、将来を予測したうえで、今から何をすべきかを考え、危機感を共有しながら取り組んでいくべき方向性を考察したい。